

# 今日も明日も おたっしやて。

■くしもと町立  
病院コーナー■  
Vol.49

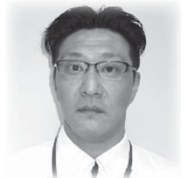
## 4月から着任された医師を紹介しす

### 外科（副院長）船井 貞往 医師



このたび、副院長、外科科長として、近畿大学医学部外科客員教授を拝命し、近畿大学医学部堺病院から赴任しました船井貞往です。昭和60年に近畿大学医学部を卒業し、30年余り外科一筋でやってきました。専門は、肝臓、胆道、すい臓の外科ですが、大腸、痔、ヘルニアなどの腹部の外科治療にも精通しています。手術を通じて病気を治すのがモットーですが、超音波エコーやレントゲン透視装置を使って、からだを切らずに、穿刺せんしといって針で患部を突いて膿うみなどを体の外に出す手技や、カテーテルという管やガイドワイヤーという針金のような器具を使った治療など、手術をしない、からだにやさしい治療も得意分野です。くしもと町立病院では、けが、やけどなどの外傷から高度な技術が必要な手術まで、あらゆる外科的処置を必要とする病気を、串本の地で治療できるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

### 整形外科医長 松崎 晃治 医師



このたび、整形外科医長として着任させていただいた松崎晃治まつざきこうじです。手や足の骨折だけでなく、日常生活の妨げとなる関節痛や腰痛、骨折予防を含めた骨粗鬆症こつそしょうしょうなどでお悩みの方がおられましたら、整形外科へ受診していただけると幸いです。前任の枅村直志先生は、地域住民から非常に信頼されていたように伺っております。大変プレッシャーも感じておりますが、多くの皆様と信頼関係を築き、これまで以上に信頼される素敵な病院になれるよう、微力ではございますが尽くしたいと考えております。まだまだ若輩者ではありますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 内科 宮田 剛 医師



4月1日付けでくしもと町立病院の内科に足立先生の後任として赴任することとなりました宮田剛です。平成26年1月から3か月間赴任させて頂いておりましたが、この度再度赴任させて頂くこととなりました。私は近畿大学医学部附属病院・消化器内科にて主に胆・膵領域を中心に診療してまいりました。大病院では基本的検査である上部および下部消化管内視鏡検査はもちろん、肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法しょうしやく（RFA）、大腸ポリープに対する内視鏡的切除術（EMR）も行っておりました。特に近年では胆・膵領域の検査である超音波内視鏡検査（EUS）を年間300例程度、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（ERCP）を年間100例程度実施しております。

くしもと町立病院赴任後は、消化器内科領域全般を診療させて頂いております。近年、胃癌や大腸癌などの消化器癌の治療成績は向上しているものの、癌の治療は早期発見が極めて重要です。たとえ症状がなくとも早期に発見するために内視鏡検査やCT検査などで検査しておくことをお勧めします。鎮静剤（眠る薬）を用いて苦痛なく検査を行うことも可能ですので、ぜひご相談頂けると幸いです。また、胆石発作（食事後の急激な腹痛）や閉塞性黄疸おうさくせいおうだん（目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、かゆみができるなどの症状）時に治療として必要であるERCPも積極的に実施させて頂きます。何か気になる症状があればおっしゃって下さい。

微力ではありますが、地域の皆様のお役にたてるよう頑張る所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

### 外科 佐藤 克明 医師

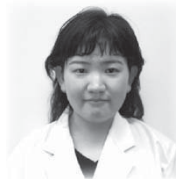


このたび、外科・前川医師の後任として近畿大学医学部外科学教室より赴任することとなりました佐藤克明です。大学外での勤務は平成23年4月から2年間勤務した近畿大学医学部奈良病院以来3年ぶりとなります。くしもと町立病院では一般外科を担当いたします。

大学では、主に呼吸器領域を中心に診療していました。呼吸器領域の手術としては、肺悪性腫瘍手術や気胸手術などがあり、平成27年度は両者を合わせて63例を執刀し、92例は助手として参加してきました。

くしもと町立病院では、一般・消化器外科医として、他科医師と緊密な連携を保ちながら地域の皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、宜しくお願いいたします。

### 内科 福井 彩乃 医師



このたび、内科・樋野先生の後任として近畿大学医学部附属病院から赴任することになりました福井彩乃ふくいあやのです。くしもと町立病院には、平成28年4月から1年間務めさせていただき予定となっております。生まれも育ちも大阪で、今まで大阪から出たことがなかったので、自然がいっぱいの串本の生活が楽しみです。

近畿大学医学部附属病院では血液・膠原病内科に所属しており、主に血液内科疾患を中心に診療を行ってきました。白血病や悪性リンパ腫・貧血疾患など、頻度の少ない疾患が多いのでどこまで串本の地域で貢献できるかはわかりませんが、精一杯務めさせていただければと思っています。また、串本では専門分野にかたよらず、広く一般的な内科診療も行っておりまいます。できる限り地域の皆様のお役に立てるよう尽力してまいりますので、よろしく宜しくお願いいたします。

### 小児科 塩谷 拓嗣 医師



このたび、小児科・小西先生の後任として赴任することになりました塩谷拓嗣しおたにたくしと申します。私が小児科医を志したのは高校生の頃からで、その理由は何と言っても「子どもが大好き」だからです。そして、近畿大学医学部に入学し、小児科重点コースによる研修医生活を経て、近畿大学医学部附属病院で小児科診療に従事しておりました。主に大学では、感染症、アレルギー疾患等の一般診療、救急診療、新生児診療（NICU）、ワクチン外来、乳児健診、重症疾患（ネフローゼ症候群や白血病等）など幅広い診療を行っておりました。

くしもと町立病院では、様々な病気に対応させて頂きます。「守りたい 小さな子どもの大きな未来」をモットーに、地域の子どもの笑顔を手1人でも多く見られるように、親身になって診察を行うように尽力して参りますので、宜しくお願い致します。



後列左から：（薬局長）西川由紀、（薬剤部主任）林直樹、（看護師）吉岡京子、（医師）塩谷医師、（看護師）岡本詩織、（事務）瓜田政稔、六十谷芳佳  
前列左から：佐藤医師、宮田医師、船井副院長、前地管理者、阪本院長、松崎医師、福井医師

ニューフェイス  
今年度、6名の医師のほか看護師2名が採用され、異動により事務部に2名が配属されました。また、整形外科の山本先生が副院長に昇格され、薬剤部2名の役職異動がありました。